

薬物動態談話会 9月幹事会 庶務幹事資料

1. 9月例会の参加状況

年度	一般会員	特別・功労会員	合計
2019年	名	名	名
2018年	40名	4名	44名
2017年	68名	4名	72名
2016年	50名	1名	51名
2015年	50名	4名	54名
2014年	46名	5名	51名
2013年	41名	7名	48名

2. 6月演習セミナーについて

2019年6月演習セミナー概要

タイトル： 「独力で DDI ガイドラインを使いこなすために求められる基本的知識・技量とは？」

日時： 2019年6月21日(金) 10:00～17:45

場所： 日本薬学会 長井記念ホール A・B

主任講師： 前田 和哉先生(東京大学)

チーフター： 千葉 康司先生(横浜薬科大学)、小山 智志先生(理化学研究所)、工藤 敏之先生(武藏野大学)

主担当幹事： 奥平 典子 常任幹事 (現功労会員)

アンケート方法：開催後メールで参加者にアンケートを送付し、参加者46名全員から回答を得た。

【アンケートまとめ】 詳細は別紙1参照。

- ・ テーマと内容が濃い講義(資料)、先生方の親身な指導が高評価を得た。
- ・ ガイドライン中の数式や値の説明、それを演習での確認する流れが高評価を得た。
- ・ 講義と演習の時間配分の改善、特に演習時間不足の意見が多い(昨年と同様)。
- ・ グループ分けが活かせていないとの意見があり(昨年と同様)。
- ・ 事前課題の配付が遅く十分に取り組めなかつたとの声が多い。
- ・ グループ毎に席を配置しているため、講義中スクリーンが見づらいとの意見が散見された。

【改善点・反省点】

- ・ グループ分けで経験者を入れているが機能していない(事前アンケート時の経験有無と入社年数でグループ分け)。→事前アンケート内容の改善、経験者に事前に役割(ファシリテート)を伝えておく。
- ・ 十分に演習が出来るよう、時間配分を検討する。終了時間が大幅に遅延した。
→講義、演習内容(量、難易度)を考慮した時間配分(講義内容の確認を早める必要がある)。開始時間を早めるのは難しいため、ランチョン講義を検討(昼食用意、講師に課題あり)。演習時間の短縮のため、事前課題の配付を早める(週末が利用できるように開催1週間以上前)。

- ・ 講義時のスクリーン可視性。
→講義時はスクール型、演習時は島型配置が理想だが、会場と時間の制約から困難である。

【今後の演習セミナーの方向性】

- ・ アンケートでレベル分けや複数日開催の意見があったものの、講師、準備作業、経費の観点から、基本的にはこのまま基礎固めの演習を主軸に継続する。
- ・ 一方で課題3※が高評価を得たことから、開発候補化合物の相互作用リスクを参加者間でディスカッションすることに特化したセミナーも検討の余地がある。 ※問題については別紙1を参照
- ・ ヒトCYP代謝予測の演習について検討する（山添先生）。

3. 第42年会準備状況

・ 参加申し込み関連

会員向けメールおよび談話会HP参加申し込みページ開設（9/18）

参加申込の締切：10/25（金）、参加費振込締切：11/1（金）

幹事会メンバーについては以下の3名※を除きHPからの参加申込は不要です。庶務幹事より別途確認いたします。

※セミナー主幹事1名、庶務主幹事1名、セミナーフォローアップ幹事1名

・ 会場関連

昨年度実績（参加者125名、意見交換会112名、宿泊者96名）をもとに準備

※宿泊室数：10月26日（土）連絡、最終変更2日前迄（前日キャンセル20%、当日80%）

禁煙室or喫煙室の希望を確認。禁煙室不足時は以下の優先順位で割り振る予定：

講師・座長→特別・功労会員→会長・常任幹事→一般会員→会社幹事

事務局控室：4階 葦（すみれ） 利用時間：11/14（木）12:00～11/15（金）17:30（意見交換会前～幹事会終了迄は施錠予定）

年会会場：4階 平安I-II

意見交換会：3階 チェルシー 二次会：30階 パール

※再見積（一部屋台中止/変更等：昨年比約30万円減）を取得（企画幹事と協働）

※意見交換会人数：確定10日前迄、変更5日前迄、最終変更2日前迄

2日目朝食：2階 フィガロ、昼食：4階 平安III

2日目幹事会：3階 メイフィア

・ 当日準備、役割分担

当日準備内容と担当幹事会社（正/副幹事）の役割分担は後日連絡します。

庶務幹事は12時にホテル入り予定です。

その他担当幹事は、13時に4階 葦（すみれ）集合とする予定です。

受付開始 14 時 30 分にルームキーが間に合わない可能性。ホテルと隨時調整します。

4. 薬物動態談話会ホームページ (HP) 関連

- ・ 9月例会情報、第42年会の参加申込ページを掲載した。
- ・ 9月例会、第42年会情報の薬物動態学会HPへの掲載を依頼した。
- ・ 関連学会案内を掲載した（「5.他学会のチラシ配布及びHP掲示、会員告知」参照）。
- ・ 談話会幹事メーリングリスト（event-ml@danwakai.jp）宛メールにファイルを添付した際、送信されない事象が発生したためピングプラン社に設定を確認した。概ね 5 MB を超える添付ファイルでは、送信時に制限がかかる設定となっているとのこと。メーリングリストアドレス宛に添付ファイル付メールを送付する際にはご注意ください。
- ・ イベントページの Google MAP 表示に不具合あり。ピングプラン社に対応依頼中。
- ・ HP 改修の検討

過去資料保存のためのアーカイブスペース設置についてご審議をお願いします（別紙2）。

5. 入退会の報告

＜入会＞

一般会員：

佐藤製薬株式会社より入会届（2019年9月2日付）が提出されました。ご審議をお願いします（別紙3）。入会は 2019 年 10 月 1 日付とし、会費請求は会計内規に従い 2 四半期分（50,000 円）とする予定です。入会が承認された場合、年会意見交換会でご挨拶を依頼予定。

※島津製作所およびサノフィーの勧誘状況（杉山先生、1月幹事会議事録より）

＜退会＞

なし。

＜会員数の推移＞ 2019年9月20日現在

年度	一般会員企業	特別会員	功労会員	ISSX 会員
2019年	69 社 ^{※1}	74 名	15 名	6 名
2018年	68 社	74 名	16 名	14 名
2017年	72 社	74 名	18 名	15 名
2016年	72 社	75 名	17 名	24 名
2015年	70 社	75 名	15 名	35 名
2014年	70 社	74 名	16 名	40 名
2013年	71 社	70 名	16 名	45 名
2012年	72 社	67 名	14 名	46 名
2011年	74 社	67 名	13 名	49 名
2010年	75 社	69 名	13 名	52 名
2009年	73 社	68 名	14 名	53 名

2008年	77社	67名	14名	57名
-------	-----	-----	-----	-----

※1：本日入会審議の1社を除く。

6. 他学会のチラシ配布及びHP掲示、会員告知

JSSX 第34回年会：1月新年例会、4月例会、6月演習セミナー、8月談話会セミナー、9月例会、年会(第42回)でチラシ配布(幹事会メール審議済み)

※チラシはその時々の最新版を配布予定

※6月演習セミナー以降は年会とショートコースのチラシを配付
理化学研究所 杉山特別研究室主催 第14回理研公開シンポジウム

：6月演習セミナー、8月談話会セミナー、9月例会でチラシ配布
(幹事会メール審議済み)

東京大学大学院薬学系研究科 分子薬物動態学教室 特別セミナー

：HP掲示、会員宛メール配信(9/14)

(特別会員 前田先生依頼。幹事会メール審議済み)

第41回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム

：HP掲示、会員宛メール配信(9/21)

(特別会員 宮内先生依頼。幹事会メール審議済み)

7. 今後の日程確認

2019年

第42年会	11月14日(木)-15日(金)	オークラアクトシティホテル浜松	浜松	予約済
-------	------------------	-----------------	----	-----

日程の参考(他学会予定)

- ・日本臨床薬理学会 2019年12月4日(水)～6日(金) 京王プラザホテル
- ・JSSX 第34回年会 2019年12月9日(月)～12日(木) つくば国際会議場

2020年

新年例会	1月31日(金)	東京ガーデンパレス	東京	予約済
4月例会	4月17日(金)	千里ライフサイエンスセンター	大阪	仮予約済
演習セミナー	6月12日(金)	日本薬学会長井記念ホール	東京	仮予約済
談話会セミナー	8月26日(水)～28日(金)	クロス・ウェーブ府中	東京	予約済
9月例会	9月14日(月)	日本薬学会長井記念ホール	東京	仮予約済
第43年会	11月19日(木)～20日(金)	オークラアクトシティホテル浜松	浜松	予約済

9月例会：金曜日は薬学会関連イベントで全て予約済みのため確保できず。杉山会長、内藤・

岩坪両常任幹事と相談のうえ、9月14日(月)の開催を予定。ご意見よろしくお

願いします。

第43年会：メール審議済。

日程の参考(他学会予定)

- ・センター試験 2020年1月18日(土)～19日(日)
- ・JSSX 第35回年会(2020年) ISSXとの合同開催 2020年10月4日(日)～8日(木)
Hilton Waikoloa Village, Waikoloa, Hawaii, USA
- ・第47回日本毒性学会学術年会 2020年6月29日(月)～7月1日(水)
仙台国際センター(仙台国際会議場)

2021年

新年例会	<u>1月 29日(金)</u>	東京ガーデンパレス	東京	仮予約済
4月例会	4月 9日(金)or16日(金)	千里ライフサイエンスセンター	大阪	仮予約済
第44年会	11月 11日(木)・12日(金) 11月 18日(木)・19日(金)	オークラアクトシティホテル浜松	浜松	仮予約済

新年例会：金曜日では29日以外は確保できませんでした。

日程の参考(他学会予定)

- ・大学入学共通テスト 2021年1月16日(土)～17日(日)
- ・第48回日本毒性学会学術年会 2021年7月7日(水)～7月9日(金)
神戸国際会議場

2022年

第45年会	11月 10日(木)・11日(金) 11月 17日(木)・18日(金)	オークラアクトシティホテル浜松	浜松	仮予約済
-------	--	-----------------	----	------

2023年

第46年会	11月 9日(木)・10日(金) 11月 16日(木)・17日(金)	オークラアクトシティホテル浜松	浜松	候補
-------	---------------------------------------	-----------------	----	----

8. 次回幹事会の予定

11月幹事会 2019年11月15日(金)・朝7:00～8:00 (最長8:15まで)
オークラアクトシティホテル浜松3階「マイフィア」

以上

審議事項：薬物動態談話会ホームページ アーカイブスペース設置について

＜アーカイブ設置の目的＞

「会議資料」、「議事録」および「内規・手順書」は、最新から過去の資料まで各資料が同一のページに掲載されて閲覧性が悪い。そこで、アーカイブページを設置し、最新資料と過去の資料の掲載場所を分離し閲覧性を向上させる。

また、年会、談話会セミナーおよび演習セミナーの要旨集等の資料は、現在は担当幹事が管理し次幹事への引継ぎを行っている。アーカイブページを設置することで、管理・引継ぎ作業の軽減と幹事会内の各資料の共有促進を図る。

＜アーカイブ対象資料＞

以下の6種類を予定。④～⑥の掲載は、現幹事が所持する資料とし、過去資料は可能な範囲で対応する。

① 会議資料

※現「会議資料」ページには、当年度および過去2年度分のみ掲載（計3年間）

② 議事録

※現「議事録」ページには、当年度および過去2年度分のみ掲載（計3年間）

③ 内規・手順書

※現「内規・手順書」ページには、最新版のみ掲載

④ 年会の要旨集

⑤ 談話会セミナーの要旨集

⑥ 演習セミナーの講義資料

＜アーカイブページ概要＞

① 幹事会権限ログイン時に閲覧可能な「アーカイブ」ページを設置。幹事会メンバーのみがファイルの閲覧とダウンロード可能。

② フォルダ作成とファイル保存・削除は管理画面で実施。各担当幹事が資料を保存し、次の幹事に引き継ぐ。

③ 保存ファイルの種類に制限はない。年会、セミナーの要旨集程度（50 MB/ファイル）であれば保存ファイル容量も現状で制限なし（談話会HP全体で80 GBまで確保済み）。

④ フォルダ構造案：「アーカイブ」ページ直下に「会計資料」、「会議資料」、「議事録」、「内規・手順書」、「演習セミナー資料」、「談話会セミナー資料」、「年会資料」のフォルダを作成。各フォルダ直下に以下のフォルダを作成。

「会計資料」、「会議資料」、「議事録」、「演習セミナー資料」、「談話会セミナー資料」、「年会資料」：年度ごとにフォルダ（例：2015年度）を作成し各資料を保存。

「内規・手順書」：「会則」、「会計内規」、「電話会議開催手順」、「セミナーの企画に関する内規」、「企業展示に関する内規」、「常任幹事の選出基準と選出方法」、「学会寄附の内規」、「年会の企画に関する内規」、「情報共有の手順」、「薬物動態談話会_ロゴマークと使用の手順」、「特別会員の選任基準および選任手順」の各フォルダを作成し旧版を保存。

＜費用＞

開発費用として18万円（税別）。アーカイブスペースの運用費は不要。

＜設置作業期間＞

発注から1～2週間。

以上

佐藤製薬株式会社より入会届を受領しました。

薬物動態談話会 会長
杉山 雄一 先生

薬物動態談話会入会届

法人名： 佐藤製薬株式会社

代表者氏名： 田窪 孝年

入会会員及び連絡先

会員名(所属部署・職位)： 田窪 孝年(医薬研究部・部長)

住所(郵便番号)： 東京都品川区東大井6-8-5 佐藤製薬株式会社 品川研究開発センター(〒140-0011)

TEL: 03-3298-3014

FAX: 03-3767-1390

E-mail: takatoshi.takubo@sato-seiyaku.co.jp

薬物動態研究に関与している主なスタッフと、その略歴、業績

1. 代表者名

田窪 孝年

2. 主なスタッフ

伊藤 悠子、高橋 博文、長尾めぐみ、石井 康行

研究内容： 開発品の薬物動態的薬物相互作用の非臨床並びに臨床薬理学的研究

発表業績： -Clinical Drug-Drug Interaction Potential of BFE1224, Prodrug of Antifungal Ravaconazole, Using Two Types of Cocktails in Healthy Subjects, Clin Transl Sci 11, 477-486, 2018

-No Effect of Digoxin on Rosuvastatin Pharmacokinetics in Healthy Subjects: Utility of Oita Combination for Clinical Drug-Drug Interaction Study, Clin Transl Sci (in press)

薬物動態研究部門の概要

弊社での薬物動態研究課の歴史は浅く、約5年前に活動を開始したばかりである。弊社オリジナル医薬品の創薬段階における薬物動態スクリーニング業務を中心に、導入品の薬物動態的評価並びに新薬承認申請業務を担当している。

以上、薬物動態談話会において研鑽することは弊社にとって動態研究に貢献できると考えておりますので、薬物動態談話会への入会をお願い申し上げます。

2019年 9月 2日

社名・所属部署： 佐藤製薬株式会社

品川研究開発センター 医薬研究部

氏名： 田窪 孝年

御署名(捺印)

田窪 孝年